## 事業所における 自己評価結果(公表)

## 公表:令和6年1月1日

## 事業所名 コペルプラス那珂川 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切である	6	0	法令を遵守しております。	
環境・体制数	2	職員の配置数は適切である	6	0	法令を遵守してお ります。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された 環境になっている。また、障害の特性に応じ、事 業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等 への配慮が適切になされている	3	3		バリアフリー化がなされていませんが、今後の検討課題としていきます。
整備	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に なっている。また、子ども達の活動に合わせた空 間となっている	6	0	毎朝決まった時間 に職員全員で清 掃を行い、心地よ く楽しい空間にな るよう、環境整備 に努めております。	
	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	朝礼時に共有すべきことを話したり、午後の決まった時間に全職員で参画したりして行っています。	
業務改善に	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して 事業所の評価を実施するとともに、保護者等の 意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	アンケートを実施し、その内容を全職員に周知し、話し合いを行っています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		

	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげている	4	2		現在第三者による外部評価 は行っておりません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保している	6	0	事業所内でも様々な研修を行い、全職員で日々 資質の向上に努めております。	
適切な支援	100	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	アセスメントは保護者の方と時間をとり、ご要望やお子様の成長に合わせた個別支援計画を作成しております。また、作成後も保護者の意向と相違がないか話あっております。。	
援の提供	(E)	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用している	6	0	自社のオリジナルア セスメントツールを 利用しております。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	法令を遵守し、個別療育で可能な範囲内で支援内容を選択し、内容を設定しております。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われてい る	6	0	毎回支援計画を確認しながら、内容を設定しております。	
	(14)	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	原案の段階で、職員全員で意見を 出し合いながら立案しております。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	月ごとに教材の入れ替えを実施しております。毎回療	

				1	
					育内容を確認し、内容が固定化しないように配慮しております。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し ている	6	0	お子様の状況や 保護者様からのご 要望に合わせて、 個別療育と小集 団での療育を行っ ております。
	Ð	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	支援前には療育 の打ち合わせを行 い、必要な役割分 担を把握できるよ うにしております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた 点等を共有している	6	0	支援後は振り返り を行い、気づいた 点やその日のお子 様の様子等、今 後の支援の方向 性をその都度共有 しております。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	全体の課題ごとに 様子を記録し、よ りよい支援の提供 に努めております。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	最低でも6ヶ月に 1回のモニタリング を実施し、個別支 援計画の見直しを おこなっておりま す。
関係機	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者 が参画している	6	0	担当者会議には 適切な職員が参加しております。

関や保護者	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や 関係機関と連携した支援を行っている	6	0	必要に応じて連携 を取り、支援を行っています。	今後もより良いサービスを提供することができるように必要な連携をとっていけるよう努めます。
ことの連携関	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				対象児童の在籍がありません
係機関や	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				対象児童の在籍がありません
保護者との連	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	要請を受けた際は、会議に参加する等、連携をとり、相互理解を図っています。	
携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相 互理解を図っている	3	2		必要に応じて連絡や情報交 換や共有を行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	担当者会議等では他の事業所の方からの助言なども参考にさせていただいています。研修が開かれている際には参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6		現在他施設との交流予定はありません
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	0	開催される際には 必ず参加しており ます。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ど もの発達の状況や課題について共通理解を持っ ている	6	0	療育後には振り返りの際に保護者様と話す機会を設け、子どもの現在	

		<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	
					の様子や発達の	
					共通理解に努めて	
				İ	います。	
		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護			ペアレントトレーニ	
		者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレ			ングを開催し、保	
	31)	ーニング等)の支援を行っている	6	0	護者の方に対して	
					も支援を行っており	
			Ī		ます。	
	32)	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明	6	0	契約の際にご説明	
		を行っている			しております。	
		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の			療育開始前に保	
		提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これ			護者の方に同意を	
	33	に基づき作成された「児童発達支援計画」を示	6	6 0 0	いただいてから療	
		しながら支援内容の説明を行い、保護者から児			育をおこなっており	
		童発達支援計画の同意を得ている			ます。	
		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対す	I		療育前後に保護	
	34)	る相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ	6	0	者の方と話す機会	
		ている			を設け、悩みや相	
保	(34)				談に対して助言を	
護					おこなっておりま	
者へ			7		す。	
の		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開	1	5		父母の会はありませんが、ペ
説	35)	催する等により、保護者同士の連携を支援して いる				アレントトレーニングの際に
明						は、保護者の方同士の悩み
責任			7			の共有なども行っております。
等		子どもや保護者からの相談や申入れについて、	'		ご相談や申入れが	
	36	対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者	_	1	あった際には迅速	
	30	に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速か	5	1	な対応を心掛けて	
		つ適切に対応している			おります。	
		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予	1		HP やブログ、	会報の発行は行っておりませ
		定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し			LINEを活用して、	٨.
	37	て発信している	3	2	連絡事項やお知ら	
					せ等を発信してお	
					ります。	
	6				個人情報の取り	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	扱いには十分に注	
		i			1	

		1		1	1	-
					意するように努めております。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情 報伝達のための配慮をしている	6	0	視覚支援を用いて、分かりやすく意 思疎通ができるように努めておりま	
					す。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っている	0	6		現在地域住民の皆様にご案 内可能な行事等はございません。見学などのご要望があれば個人情報を守ったうえで その都度対応させていただきます。
非	41)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	事業所でマニュアルを策定し、職員で共通理解をしております。また、保護者様には契約時にご説明しております。	
常時等の	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	6	0		職員間で確認を行い、有事の際の避難・救出の際へ備えております。
対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこ どもの状況を確認している	6	0	アセスメントの際に保護者様に聞き取りを行い、確認しております。また、服用の開始などその都度お話しいただいております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指 示書に基づく対応がされている				事業所内での飲食は原則ありません。
	<b>4</b> 5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有し ている	6	0	ヒヤリハットを作成 し、職員で共有し ております。	

46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	事例集などを用い て研修を行っており ます。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	身体拘束マニュア ルを策定しております。保護者様には ご契約時に説明を し、サインをいただいております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。